2011年 オーガニック・ナチュラルコスメの 市場分析調査

市場分析調査

市場分析

分野別市場規模

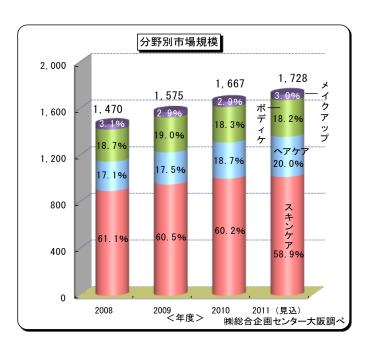
【2010年度】 市場規模は1,667億円(前年度比5.8%増)

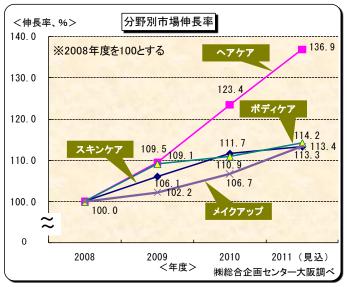
エコやロハスなどを重視した生活スタイルの定着や、敏感肌ではないが配合成分や安全性にこだわる消費者の増加によって、拡大基調を維持している。



【2011年度】 全分野が伸長する見込み。

メイクアップについては、同市場では規模が小さい分野であったが、オーガニック・ナチュラルコスメのスキンケア愛好家から、メイク製品についても需要が高まっており伸長幅が大きくなっている。



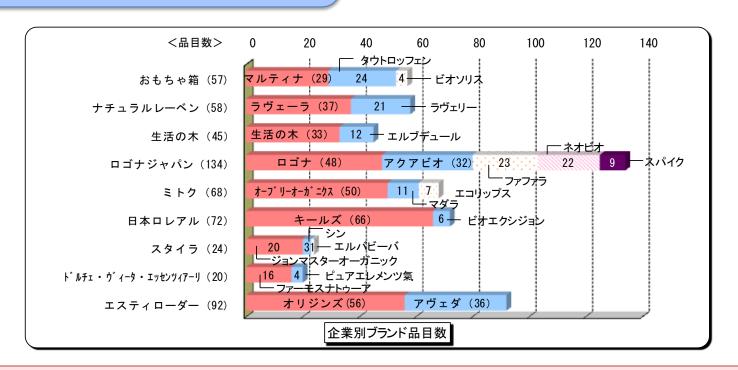


商品展開状況

主要企業・ブランドの商品展開状況

主要22社・37ブランドのスキンケア品 目数の合計は1,115品目。 1企業あたりの平均品目数は50.7品目

多くのブランドで、肌タイプ別や機能別、配合精油別など 複数のシリーズを展開するケースが多く、品目数が充実し ている。



最も品目数が多い「ザ・ボディショップ」については、シリーズ数が多いうえ、 各シリーズでベーシックアイテムが全て揃うラインアップとなっている。また、「マークス&ウェブ」に 関しては、配合精油別に同じアイテムで複数種展開しているため品目数が多くなっている。

今後の展開

オーガニック・ナチュラルコスメの今後の市場性

【2010年度】 前年度比5.2%増と好調に 推移した



【2011年度】 増加推移が見込まれ、 今後も拡大傾向が続く見通し

市場の動き

- ①スキンケア以外のカテゴリーの拡がり
- ②成分にこだわる消費者の増加
- ③チャネルの拡大
- 4ブランドの刷新、商品導入の活発化
- ⑤安心·安全訴求プラス機能性を謳う商品及び第 3者機関認定商品の充実

市場規模に対してブランド数が多すぎる状況のため、一部のブランドを除く多くのブランドでは販売高の伸び率が鈍化する見通し。そのため今後、ブランド間の更なる競争激化が予測される

今後、スキンケア以外を含む全分野の拡大によって更なる成長を目指していく。 また、機能性を謳ったブランドの増加により、アンチエイジングや美白など他の分野化粧品 ユーザーの取り込みを実現することで成長基調を維持する見通し。 この度は、資料をご覧いただき誠にありがとうございました。

このテーマに関する詳細情報をお知りになりたい場合は、お問い合わせフォームをご利用ください。

※詳細な資料データ解説、社内セミナーのご依頼など、ご要望をお寄せください。

宜しくお願い致します。

株式会社ソフィアリンクス